

寺
ごよみ

十月

一日	板屋お講
二日	栗虫報恩講
三日	栗虫報恩講
四日	魚津報恩講
五日	経田・窪野・田家 報恩講
六日	お寺座ライブ
七日	清掃奉仕
八日	東狐報恩講
九日	東狐報恩講
十日	富山報恩講
十一日	上野報恩講
十二日	三日市お講
十三日	上野報恩講
十四日	法要準備
十五日	善巧寺報恩講
十六日	板屋報恩講
十七日	お経を読む会
十八日	板屋報恩講
十九日	飯野・芦崎報恩講
二十日	パークゴルフ大会

寺報

善巧
ぜん ぎょう

発行

〒938-0862 富山県
黒部市宇奈月町浦山497
白雪山 善巧寺
TEL (0765) 65-0055
FAX (0765) 65-0975
URL <http://www.zengyou.net>



親鸞聖人お得度のシーン（御絵伝）

大遠忌記念事業 新調内陣天井画展示

報恩講十月十九～二十日
空華忌十一月十五～十六日

ほんこさまが始まりました。ほんこさまは正確には報恩講といい、親鸞聖人のご法事です。

善巧寺では、十月十九～二十日に報恩講がつとまります。親鸞聖人の祥月命日は一月十六日ですから、それより前もって行う法要で「お取り越し」とも言います。祥月命日につとめる法要は「御正忌」です。

さらに、報恩講はお寺だけに留まらず、ご門徒さんのお宅へ一軒一軒お参りする在家報恩講が行われます。お寺で二回

自宅の仏壇で一回の計三回の報恩講。浄土真宗の開祖、親鸞聖人がどれほど大切にされているかがおわかりいただけるでしょう。

以前こんな質問を受けました。「十月の報恩講と一月の御正忌はどっちが大切なの？」

これに対して、我々の法事の勤め方はどうでしょうか。ご法事は、故人の祥月

お取り越し

命日より先に行う場合が多いですね。「先に勤めるべき」という考え方は、少し迷信じみた響きを感じてしまうのですが、見方を変えると、法事を大切にする心のあらわれとも受け取れます。（命日後に法事を勤めても全く差し支えはありません）

故人の祥月命日はどのようにされているでしょうか。家族や親しい人たちでお仏壇に手を合わせる方も多いのではないでしょうか。

先立って勤まる「報恩講」と、祥月命日に勤まる「御正忌」。どうぞ、ご身内のご法事のごとくに勤めてくださるようお願い申し上げます。

十月十九日、二十日、どうぞどうぞお参りください。心よりお待ちしております。

善巧寺住職 雪山 俊隆

七五〇回大遠忌 記念事業

来年（平成二十四年）の四月から本堂の修復、ならびにお蔵の修復事業が着工されるにあたり、

日本画家の清河恵美さんにご依頼している内陣の天井画が一部完成しました。地元富山で見られる四季折々の花々が丁寧に描かれており、一枚一枚のクオリティの高さもあることながら、一同に並べた時の素晴らしさは時を忘れるほどです。百年後に目にした人たちにも同じ感動を与えることでしよう。

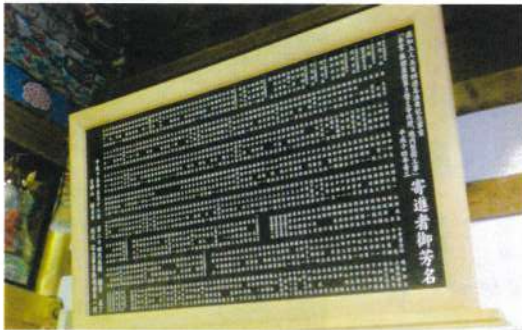
内陣天井に収まるのは本堂修復工事の終わり頃、来年の九月になる予定です。その前に、ぜひご門徒の皆様近くで見えて頂きたく、先立っ

て、報恩講（十月十九・二〇日）と空華忌（十一月十五・十六日）に本堂へ展示させていただきます。善巧寺の宝はご門徒の宝。ぜひご参拝の上、ご覧下さい。その後、一般公開も計画中です。



来年（平成二十四年）の四月から本堂修復の工事に着工しますので、工事中、半年ほど本堂が使えない状況となります。お寺でのご法事は、空華殿を仮本堂として対応しますので、よろしくお願い致します。

また、現在本堂に貼り出しているご芳名は、工事中縮小して集会所へ貼り出す予定です。平成二十五年の大法要までには、ご寄進頂いた方のご芳名を銅版に記帳し、本堂に常設する予定となっております。



参考写真（荻生称名寺）

永代祠堂会

七月十六・十九日

ご門徒の方々の総法要、永代祠堂会が今年も無事に勤まりました。ご講師は、愛知県普元寺より西脇昌史師。惹き付けるお話ぶりに、一同耳を傾けさせていただきました。恒例のお寺クイズでは、上野の仏婦役員が解答者として出演。大いに参拝者を和ませました。全問正解者は大橋地区の西中和子さん、日頃よくお参りされる方です。



お盆の行事

八月十三〜十五日

十三日には青年盆会、十五日は恒例のこども盆踊り、十六日は初盆を迎えられる方のお盆参り、いずれも滞りなく行われました。



雪ん子劇団公演

八月二十八日

暑さが戻った二十八日、境内の大銀杏の前の野外劇場が開演しました。団員の少なさを感じさせない迫力のある良い舞台だったと好評をいただきました。

九月十一日には黒部市敬老会に招待していただきました。今年の三月に黒部市みまもり員感謝の

集いで、黒部市福祉センターでの公演でした。音響機器の故障でBGMが全く使えず一瞬慌てましたが、高校生OGの指導もありアカペラで全員歌いきりました。三日市の門徒さんも数人いらっしやって喜んで声を掛けてくださいました。



教区仏婦バザー

九月二十三日

毎年富山別院では彼岸会が勤まり、お昼の時間を利用して仏婦が恒例のバザーを行います。前日善巧寺から仏婦役員二人が参加。常任委員26名で午後1時から夕方までかかってバザーの準備をしました。今年は東日本大震災に義捐物資を提出された為か、例年に比べると品物が少なかったようです。それでも彼岸会のお勤めが終わると会場の前にはずらりと列ができます。食料品や日用品から売れて、三十分もするとほとんどがなくなってしまう。売り上げは三十七万円余。やはり善巧寺のバザーに比べると規模がちがいます。一度顔をのぞかせてみると面白いですね。

一二月

一二月

一日	愛本新お講	一日	大橋報恩講
四日	石田中新報恩講	二日	下立愛本お講
五日	石田中新報恩講	三日	愛本新報恩講
六日	住職不在	四日	愛本新報恩講
一〇日	石田中新報恩講	五日	愛本新報恩講
十一日	析沢報恩講	六日	下村報恩講
十四日	析沢報恩講	七日	下村報恩講
十五日	空華忌	八日	下村報恩講
一六日	空華忌	九日	下村報恩講
一六日	浦山新お講	一三日	下立愛本報恩講
一七日	析沢報恩講	一四日	下立愛本報恩講
一九日	析沢報恩講	一六日	浦山お講
二一日	出報恩講	一七日	下立愛本報恩講
二二日	中陣報恩講	一九日	内山報恩講
二五日	中陣報恩講	二〇日	内山報恩講
二六日	浦山新報恩講	二四日	音沢報恩講
二九日	浦山新報恩講	二五日	音沢報恩講
三〇日	浦山新報恩講	二六日	音沢報恩講
		二七日	音沢報恩講
		二九日	米とぎ
		三〇日	もちつき

ご法事をご予約の方は、まず寺ごよみをご参照ください。お寺の行事中は法事が行えませんが、在家報恩講（ほんこさま）は午前中に行うため、午後にはご予約可能です。お電話でご相談ください。

報恩講

報恩講とは浄土真宗門徒にとつて最も大切な親鸞聖人のご法事です。

十月十九日 午前10時、午後一時半

二十日 午前10時、午後一時半

講師 川崎順正師

※十九日夜のお座を日中に繰り上げました。二〇日は送迎バスが出ます。別紙をご覧ください。

くうげき

空華忌

善巧寺十一世明教院僧 鎔法師のご法事です。

十一月十五日 午後一時

十六日 午前10時、午後一時

講師 高務哲量師

僧鎔法師は私塾「空華廬」を開き多くの門弟を育成されました。その流れを「空華派」と言います。地域の名士としても知られ、昭和初期までは小学校で讃歌が歌われていました。ご門徒の方々には是非触れて頂きたいご法縁です。



清掃奉仕

十月十日午前八時半
(雨天順延)

報恩講準備

十月十八日午前八時半

空華忌準備

十一月十五日午前八時半

米とぎ

十二月二十九日午前八時半

もちつき大会

十二月三十日十時

本堂天井画公開

～大遠忌記念事業企画～

<会期>

第一期 10月19～20日

第二期 11月15～16日

作家 清河恵美

※法要期間に展示されます。



年頭参り

一月一日

新年は心新たに仏さまへのご挨拶からスタートしましょう。除夜の鐘は午前0時スタート。一日午前八時から午後三時頃に参拝者が多く来られます。三ヶ寺それぞれにお待ち受けしておりますので、どうぞご参拝ください。ご法事の受付も致します。

合 掌

◇この夏は猛暑が早く来たかと思うと七月になって涼しくなったり、各地に台風の被害や水害がでたり、被災地では余震が続いたり、残暑がいつまでも続いたり、厳しい夏でした。

◇今年の五月からスタートした「お経を読む会」の第一期が十月で終了します。お経の音程からテンポまで、一から練習する六回連続練習会。来年から第二期も予定していますので、ぜひこの折に正信偈の読み方の基礎を身につけましょう。

◇ご懇志のお願いは今年で三回目に入りました。九月から始まったほんこさまでは多くの方々が協力してくださっています。大変な時期のお願いですが、どうぞ皆さまお一人お一人のお力でこの善巧寺をお守りしていただきますようお願い申し上げます。